

発言No. 20

受付No. 20

令和 5 年 11 月 22 日  
10 時 55 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番 氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1. 介護予防の取組について

##### (1) 生活支援コーディネーターについて

- ①令和6年度の人員体制を伺います。
- ②令和6年度のコーディネーターの取組内容を伺います。
- ③生活支援コーディネーターと外部連携の取組を伺います。

##### (2) 閉じこもり予防について

- ①閉じこもりは要支援や要介護となるリスクを含んでいます。高齢者に限らず若年期から閉じこもりとなっても同様の状況が心配されることから、閉じこもりの早期発見・対応が重要と考えます。浜田市の閉じこもり対策を伺います。

#### 2. 防災・減災対策について

##### (1) 浜田市業務継続計画について

- ①浜田市の業務継続計画の策定状況を伺います。
- ②庁舎が停電した場合の非常用電源の稼働時間を伺います。

##### (2) 防災訓練について

- ①先般、地域協議会で令和6年度の総合防災訓練の日程について示されましたが、取組内容について伺います。
- ②災害をイメージすることでどのような備えが必要かを考えることができることから、図上演習の重要性を感じていますが、実施の状況について伺います。
- ③災害時において、情報収集は大変重要です。市民自らが情報を取りに行けるような訓練も必要と考えますが、ご所見を伺います。

- ④集落単位で災害時の情報共有や避難の基準を、事前に設けていたことで助かった事例もあることから、訓練の場が住民相互の確認の機会になるような仕掛けを具体的に考えられているか伺います。
- ⑤心肺蘇生とAED講習の実施も重要と考えます。先日、救命救急講習を受けた際に「あっぱくんライト」という機材を使用され、人形の使用よりも狭い空間でテーブルの上でも簡単に行うことができます。この活用についてご所見を伺います。

### 3. 生理休暇について

- ①進学時の小中高校生らの生理については、日本若者協議会と任意団体「#みんなの生理」が実施したアンケートの結果で「生理によって学校を休みたいと思ったことがある」が9割に上った一方、成績や内申点に悪影響が出ると思い休むのを我慢した人が68%であったと報告されています。高校入試の内申書の欠席日数欄を削除する自治体があるとのことですが、浜田市の考え方について伺います。
- ②働く女性の健康を守るため、生理休暇をはじめ、妊娠中のつわりや体調不良、不妊治療などを理由とした休暇が取りやすい環境を整えることは大変重要なことと考えます。「生理の貧困」の解消に向けては、全国の公共施設などで生理用品の無料配布が広がっている一方で、取得率が1%に満たない実態にある生理休暇制度については女性だけでなく事業者にも周知を進めていくことが必要と考えますが、現状について伺います。